



一般社団法人  
日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ先

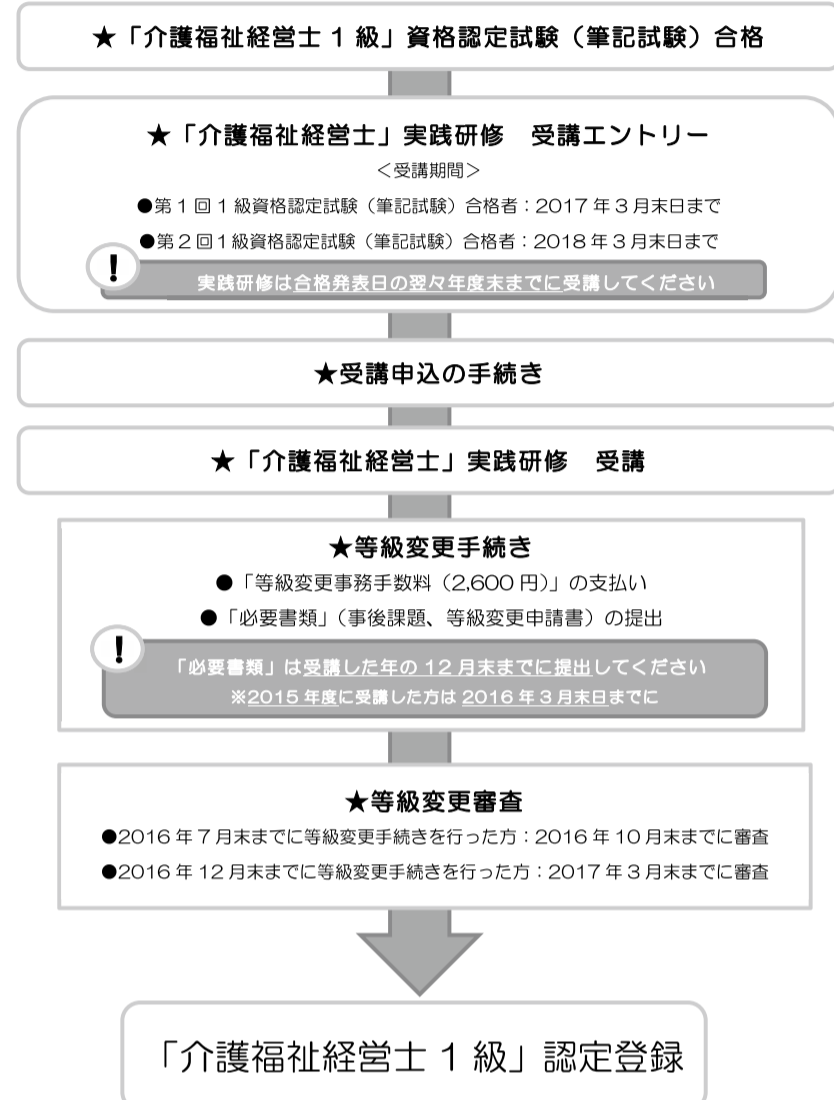
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>  
制作：株式会社日本医療企画  
編集・発行人：林 諄  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地 もとみやビル3階

# 介護福祉経営士ニュース

## NEWS

2016.3/25 No.24

図 「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ



最後の演習はグループワーク形式で行われ、講義と視察で得られた情報をもとに議論を交わす。先駆的な取り組みが多く、課題抽出に苦勞する姿も見られたが、時には法人職員も加わり意見を交わすなかで、さまざまな視点から問題が提起されることとなった。

受講者からは、「実際に現場を見ることが、講義で説明を受けた法人の理念や経営戦略、人材育成の成果などを感じることができた」などの感想が上がった。なお、すでに実践研修を受講した方や事後課題を提出済みの方、1級に認定された方も受講することができ、先進的な取り組みを行っている施設を見学でき、経営者や職員から直接話を聞けるまたとない機会を有効に活用してほしい。

受講申込は、協会ホームページにて受付中だ。実施施設に変更等が生じた場合は、協会ホームページで案内する。

表 研修実施施設（受講地・実施法人） 2016年3月25日現在

受講地	実施施設（実施法人）	日程	定員
北海道	社会福祉法人 深仁会（北海道札幌市）	調整中	調整中
関東	社会福祉法人 小田原福祉会（神奈川県小田原市）	2016年6月11日（土）	20名
東海	社会福祉法人 せんねん村（愛知県西尾市）	2016年6月4日（土）	10名
北信越	選定中	調整中	調整中
関西	社会福祉法人 愛和会（大阪府豊中市）	2016年5月14日（土）	20名
九州	社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団（大分県中津市）	2016年6月5日（日）	20名

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

「介護福祉経営士1級」認定登録への流れ

研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

## 2016年「介護福祉経営士」実践研修の実施概要決定！

### 研修施設は各地の先進経営モデル法人 見て、聴いて、語り合って実践力を磨こう

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、今年の「介護福祉経営士1級」実践研修の実施概要を発表した。「介護福祉経営士1級」資格認定試験（筆記試験）の合格者を対象に行うもので、第2回1級試験（2015年11月8日実施）に合格した52人が新たに対象となる。受講者は事後課題を提出し、「介護福祉経営士1級」の認定を受ける。

「介護福祉経営士1級」の認定に必要な「介護福祉経営士1級」実践研修が、今年も開催される。昨年は67人が受講し、すでに3人の「介護福祉経営士1級」認定者が誕生した。2016年3月末日現在、研修は、協会が認定した施設で、①講義、②視察、③演習を行い、さらに④事後課題（経営計画書・事業計画書）を作成。この過程において、課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する

取り組みを実践する。見て、聴いて、語り合、実践力を磨こうというステップを通じて、マネジメント能力を鍛える研修だ。事後課題を提出後、審査を経た者から「介護福祉経営士1級」に認定される（「介護福祉経営士1級」認定の流れについては左図参照）。

昨年の実践研修では、「研修実施施設の取り組みがよくわかり勉強になった」「現場を見学することで新たな視点や学びがあった」との声が多く聞かれ、満足度の高い研修が行われたことがわかる。

反面、研修終了後の事後課題については、難易度が高いという声が多数を占めた。そのため協会は改善策として、「経営計画書・事業計画書」作成のポイントや「経営計画・事業計画」に必要な要素をあらかじめ提示し、経営計画作成能力を高めることに注力してもらう考えだ。

研修実施施設（受講地・実施法人）は、昨年同様6か所を予定している（表参照）。いずれも各地の先進経営モデルとして知られる法人だ。

各法人とも、昨年は、理事長や法人本部職員が法人の理念や経営戦略について、直接講義を行っている。実際に取り入れているマネジメント手法の活用例や法人の収支状況なども解説されるため、この研修でしか聞くことができない踏み込んだ内容といえる。

その後の視察では、講義の内容を踏まえて、受講者から具体的な質問が積極的に投げかけられる場面が見られた。

最後の演習はグループワーク形式で行われ、講義と視察で得られた情報をもとに議論を交わす。先駆的な取り組みが多く、課題抽出に苦勞する姿も見られたが、時には法人職員も加わり意見を交わすなかで、さまざまな視点から問題が提起されることとなった。

受講者からは、「実際に現場を見ることが、講義で説明を受けた法人の理念や経営戦略、人材育成の成果などを感じることができた」などの感想が上がった。なお、すでに実践研修を受講した方や事後課題を提出済みの方、1級に認定された方も受講することができ、先進的な取り組みを行っている施設を見学でき、経営者や職員から直接話を聞けるまたとない機会を有効に活用してほしい。

受講申込は、協会ホームページにて受付中だ。実施施設に変更等が生じた場合は、協会ホームページで案内する。

## 第10回「介護福祉経営士2級」資格認定試験

主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

### 7月10日(日)実施

- 試験時間/60分
- 出題回数/40問
- 出題形式/多肢選択式・マークシート記入
- 受験料/8,000円(税込)
- 受験要件/年齢、学歴、国籍等の制約はありません(成年被後見人および被保佐人でないこと)

#### ●試験科目

- 【介護福祉経営学 基礎Ⅰ】**  
介護福祉政策概論、介護福祉経営史、介護福祉関連法規、介護福祉の仕組み、高齢者介護と介護技術の進歩、介護福祉倫理学
- 【介護福祉経営学 基礎Ⅱ】**  
医療を知る、介護報酬制度/介護報酬請求事務、介護福祉産業論、多様化する介護福祉サービス



合格

会場：札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡(予定)ほか

試験のお申し込み・お問い合わせ・資料請求はウェブで… <http://www.nkfk.jp/>

## 介護福祉経営士2級資格認定試験準拠 介護福祉経営士テキスト 基礎編全10巻

セット価格:23,660円(税込)

セットでお買い上げの方に  
もれなく「合格サポートブック」を進呈!!

いまなら「介護福祉経営士2級資格認定試験合格サポートブック」がもらえる!!

【発行元】  
株式会社日本医療企画  
<http://www.jmp.co.jp/>

# 累計合格者数1000人突破 第9回「介護福祉経営士2級」 資格認定試験

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が本年2月21日(日)に実施した第9回「介護福祉経営士2級」資格認定試験の合格者が発表された。全国8会場(札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、金沢市、大阪市、福岡市、那覇市)で144人が受験し、89人が合格した。合格率は61.8%だった。9回までの受験者数は合計1891人、合格者数は1085人となり、合格者数は累計1000人を突破した。

合格者構成は次の通り。

- 〈年齢別〉
    - ▽29歳以下 11人
    - ▽30歳～39歳 43人
    - ▽40歳～49歳 21人
    - ▽50歳～59歳 13人
    - ▽60歳以上 11人
  - 〈男女別〉
    - ▽男性 77人
    - ▽女性 12人
  - 〈勤務先の業種別〉
    - 介護施設・事業所 13人
    - 金融機関 20人
    - コンサルティング 5人
    - 医療機関 21人
    - その他 30人
- 〈保有資格別(複数回答・上位5位まで)〉

## 〈2016年度試験日程〉

■2級	第10回「介護福祉経営士2級」資格認定試験	2016年7月10日(日)
	第11回「介護福祉経営士2級」資格認定試験	2016年11月13日(日)
	第12回「介護福祉経営士2級」資格認定試験	2017年3月5日(日)
■1級	第3回「介護福祉経営士1級」資格認定試験	2016年11月13日(日)

## 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

# 朝日信用金庫の女性役職者、神宮球場スタッフが「サービスケアサポーター」講座を受講

高齢者等の特性、特徴を学び、疑似体験・演習をとおして、顧客満足度の高い接客サービスを提供するための「高齢者等理解・体験・安全マネジメント研修」が広がりをみせている。研修修了者は一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が認定した「サービスケアサポーター」と称する。サービスケアサポーターは、ドラッグストアや銀行を中心にしたさまざまな業種が取り組み始めている。

金融機関では、東京、埼玉、千葉に6店舗を有する朝日信用金庫(東京都台東区)が信用金庫では初めてサービスケアサポーター養成講座を実施。女性の役職者28名が受講した。

さらに、サービス業では、創建90年を迎えた神宮球場のスタッフが2月25日に受講した。2016年のプロ野球シーズンの開幕に向けて、高齢者や車いす利用者が安心して観戦できる環境を

今後、全国各地でサービスケアサポーター講座を受講できるよう、各県に代理店契約先企業を設置し、修了者を随時輩出していく方針である。すでに、東京・千葉・茨城・神奈川・埼玉においては受講可能となっている。



## 株式会社日本医療企画 (共催：Q.L.Cプロデュース株式会社)

# 中小病院の連携が地域を支える 在宅復帰・在宅支援機能強化を見据えた経営戦略を

3月12日(土)、日本医療企画とみやまセミナールム(東京都千代田区)にて、「在宅復帰機能を強化する病院経営セミナー」を開催。中小病院・診療所が今後打ち出していくべき経営戦略のポイントを深掘りした。

まず、「医療再編時代の病院×介護の連携」をテーマに遠藤正樹氏(医療法人社団康明会常務理事・法人本部長)が講演を行い、「一部経営者の楽観的空気は、病院をつぶすことになりかねない。若い医師の教育や

医療療養病床の現実を直視すべき。また、地域の中小病院が連携し、異業種のコンソーシアムを創ること、これからの生活支援サービスを開発することが重要だ」と警鐘を鳴らした。

次に、「機能訓練特化型デイサービスと連携する診療所経営モデル」と題して、梅沢義裕氏(医療法人社団青い空にナカマド 田園調布ファミリークリニック院長)が講演。診療所と並行してリハビリ特化型デイサービスを立ち上げた経験



参加者からは、「在宅医療の方向性が理解できた」「リハビリ機能の強化を考えていたが、その方向性に誤りがないことを再認識した」との声が聞かれた。

人・モノ・カネ・  
情報を網羅した  
介護経営月刊誌

最新介護経営 わかる・使える・明日が見える

# 介護ビジョン CARE VISION



## 総力特集

# キーパーソンに聞く 介護が挑む地域づくり

医介民連携として幸手モデルを構築した東埼玉総合病院の中野智紀氏と元気スタンド・ぶりズム合同会社の小泉圭司氏や、日本版CCRC「生涯活躍のまち」を全国で展開している株式会社コミュニティネットの高橋英典氏、「RUN伴」を行っている認知症フレンドシップクラブの徳田雄人氏など、地域で活躍するキーパーソンたちに話を聞いた。

次号特集  
あなたの施設は大丈夫？  
虐待防止の  
リスクマネジメント

合格者の声

「介護福祉経営士」をどう活用する！

「介護福祉経営士2級」はこれまで、計9回の資格認定試験で、累計1085名の合格者が誕生しました。介護施設・事業所、企業などから多くの方が受験し、合格しています。どのような目的で受験し、どのように「介護福祉経営士」の資格を業務に活かそうと考えているのか、合格者の皆様にお話を伺いました。

「あるべき論」にこだわらず  
わかりやすい改善提案をめざす

私は経営コンサルタントとして、事業所の立ち上げや経営改善支援、職員研修の提案などを中心に医療・福祉業界に携わっています。また、最近では異業種から介護福祉分野に進出してくる企業のサポートに関わる機会も増えてきています。

病院に勤務していた経験を活かし、業界の外から第三者的立場として支援をしていきたいと思い、コンサルタントの道に進みました。「日本コンサルタントグループ」では業界別にチームが編成されており、私が所属する地域経営研究

所では、まちづくり・地域経営というトータルな視点で、地域・医療・事業の3つの領域についてのコンサルティンク提案をしています。その中で約7年間、医療・福祉業界に特化して活動してきました。

介護福祉業界は「人が主役であり、介護サービスを通じて利用者・介護職の双方がお互いに良い作用をもたらすという世界だと思っています。私も業界に関わる中で日々新しい発見があり、仕事をとおして、人間として育てていただいていると感じる毎日です。

「介護福祉経営士」は、先に取得していた「医療経営士」をとおして、その資格の立ち上げを知りました。早速、当時開催されていた「介護福祉経営士説明会」に参加して資格のコンセプトを聞いたところ、これは仕事にダイレクトに活かせると感じ、受験を決意しました。第1回試験ということ

で難易度や出題傾向がわからず、手探り状態での準備でしたが、「説明会」で配布された「合格サポートブック」を中心に対策を行いました。入会後は、介護福祉経営士情報誌「Sun」や「介護福祉経営士ニュース」、研究会やセミナー等で情報を得る機会も増え、大変役に立っています。また、名刺に資格名を入れることでお客様へのアピールにつなが

り、そこから話が広がることもあります。「介護福祉経営士」資格はコンサルタントや金融機関の方はもちろんですが、ぜひ介護現場の皆様にも受けてほしい資格だと感じています。

最近「職員の定着率向上」に向けた支援力を入れています。「2025年」に向けて業界を支える中堅層を育てるためには、今いる若手職員の離職を防ぎ、成長を促していくことが必要です。そのために、介護現場に「マネジメント」というキーワードを上手く当てはめていく必要があると感じています。

介護業界は多くの課題を抱えています。逆はまだまだ伸びしろがある業界だと思っています。「あるべき論」にこだわることなく、シンプルでわかりやすい改善を積み上げることでステップアップできるような支援を心掛けています。利用者目線で見ると、自分が利用したいと思える施設づくり、サービスづくりに繋がるサポートができればと考えています。



もてぎ まこと  
茂木 信

株式会社日本コンサルタントグループ  
地域経営研究所 医療・福祉研究部  
経営コンサルタント  
(東京都新宿区)

大学卒業後、企業や団体勤務を経て、公的医療機関へ入職。急性期病院での現場経験と企業や団体での実務経験を生かし、医療・福祉業界の特性を踏まえながら、あるべき論ではない多面的な問題解決支援を行っている。  
介護福祉経営士2級、医療経営士2級、医療福祉情報連携コーディネーター。

セミナー案内

地球は一つ 認知症と共に生きる  
医療・介護の安全保障を推進する民間会議

アジア諸国との国際交流を広げ、医療と介護の安全保障を築いて友好を深めるという考えから発足した「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」(代表幹事:水巻中正・国際医療福祉大学大学院教授他)が、国際シンポジウム「地球は一つ 認知症と共に生きる」を開催する。

- 日時: 2016年4月9日(土) 13:30~
- 会場: 東京医科歯科大学M&Dタワー2階「鈴木章夫記念講堂」(東京都文京区湯島1-5-45)
- 基調講演: 地球は一つ 国際交流、貢献の輪を広げよう  
松本 謙一氏(サクラグローバルホールディング会長)
- 特別講演: 飯塚 陽子氏(東京大学付属病院内科医)、湖山 泰成氏(湖山医療福祉グループ代表)  
平田 知弘氏(NHK文化福祉番組部ディレクター)
- シンポジウム「地球は一つ 認知症と共に生きる」  
座長 時田 純氏(社会福祉法人小田原福祉会理事長、日本介護福祉経営人材教育協会副代表理事)
- 会費: 1,000円
- お問い合わせ: 医療・介護の安全保障を推進する民間会議 事務局

「介護福祉経営士2級」  
過去問にチャレンジ! 問題

問題 介護福祉サービスの経営理論について、以下の選択肢のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 【選択肢】
- ① ポーター (Michael,E.Porter) は、企業の事業活動において、社会問題を別の課題として切り離すことを提唱した。
- ② ポーターは、CSV (共有価値の創出) に代わり、企業がとるべき新たな概念としてCSR (社会的責任) の重要性を提唱した。
- ③ バーニー (Jay,B.Barney) は、企業内の組織編成の人員数は潜在的競争力を左右するとした。
- ④ バーニーは、希少性で模倣にコストがかかるケイバビリティは、持続的競争優位をもたらす要因となる可能性が高いと示した。
- ⑤ バーニーによると、従業員への権限移譲は競争優位の獲得・維持を妨げるとされる。

第4回介護福祉経営士2級資格認定試験 (2013年7月13日)  
※解答&解説は4面に掲載しています。

「介護福祉教育エキスパート」養成講座  
受講生募集

同講座は、介護福祉教育の基本について学び、人間性・社会性を磨くための教育ができる人材を育成することを目的としています。

2016年「介護福祉教育エキスパート」養成講座 日程表

開催地	日程	時間	講師
東京④(東京都千代田区)	1日目 3月19日(土)	13:30~17:30	黒澤 貞夫(日本生活支援学会会長)
	2日目 3月26日(土)	9:00~17:30	
福岡②(福岡市博多区)	1日目 5月20日(金)	13:30~17:30	久保田トミ子(広島国際大学副学長、合同会社和の会代表)
	2日目 5月21日(土)	9:00~17:30	
名古屋②(名古屋市中区)	1日目 5月21日(土)	13:30~17:30	木村久枝(松本短期大学教授)
	2日目 5月22日(日)	9:00~17:30	
札幌①(札幌市中央区)	1日目 6~7月頃を予定	13:30~17:30	黒澤 貞夫(日本生活支援学会会長)
	2日目 6~7月頃を予定	9:00~17:30	
東京⑤(東京都千代田区)	1日目 5月18日(土)	13:30~17:30	柴田 範子(特定非営利活動法人 楽 理事長)
	2日目 6月25日(土)	9:00~17:30	
名古屋③(名古屋市中区)	1日目 9月頃を予定	13:30~17:30	木村久枝(松本短期大学教授)
	2日目 9月頃を予定	9:00~17:30	
福岡③(福岡市博多区)	1日目 9月9日(金)	13:30~17:30	久保田トミ子(広島国際大学副学長、合同会社和の会代表)
	2日目 9月10日(土)	9:00~17:30	

主催:一般社団法人介護福祉指導教育推進機構 お問い合わせ・資料請求はウェブへhttp://kaigo-education.jp

経営の一翼を担う栄養管理のエキスパート

栄養経営士  
テキストシリーズ(全6巻)

管理栄養士のための新資格「栄養経営士」  
養成テキストシリーズ創刊!

- 第1巻 病棟業務管理 不要な絶食患者ゼロをめざす病棟業務マネジメント  
—栄養部門が経営の一翼を担う— 真壁 昇 (関西電力病院疾患栄養治療センター)
- 第2巻 コスト管理 ビジョンの実現に向けたコストマネジメント  
—業務の選択と集中で患者満足度を高める— 大谷 幸子 (淀川キリスト教病院栄養管理課課長)
- 第3巻 組織マネジメント 栄養部門の存在意義を高めるリーダーシップ  
—専門職としての使命を全うできる環境づくり— 宮澤 靖 (近森病院臨床栄養部部長)
- 第4巻 人材教育マネジメント 自ら考え行動する人材の育成と目標管理  
—鉄は熱いうちに打たなければならない— 山下 茂子 (熊本県立大学環境共生学部非常勤講師)
- 第5巻 多職種協働コミュニケーション チーム医療を成功させるコミュニケーション  
—人と組織、そして地域をつなぐ連携の要— 秋山 和宏 (東葛クリニック病院副院長)
- 第6巻 病態栄養 臨床スキルアップのための病態把握と栄養ケア  
—病態の理解なくしてチーム医療に参画はできない— 吉田 貞夫 (沖縄メディカル病院あがりはまクリニック院長)

■体裁:各巻B5判/100~160項 ■定価:各巻2,500円+税  
■総監修/宮澤 靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事/近森病院臨床栄養部部長)

発行:株式会社日本医療企画 お問い合わせはウェブへhttp://www.jmp.co.jp/

# 林諄理事が東久邇宮国際文化褒賞を受賞 出版、経営人材育成事業の実績を評価

当協会の林諄理事(株式会社日本医療企画代表取締役社長)が2015年12月2日、東久邇宮国際文化褒賞を受賞した。本受賞にあたり感謝の意を表すため、2月2日に日本プレスセンター(東京都千代田区)で「感謝のつどい」が開催され、政財界、マスコミ関係者、医療・介護関係者ら約150人がお祝いに駆けつけた。



謝辞を述べる林諄理事

## 今こそ敗戦と向き合い

東久邇宮国際文化褒賞は、優れた発明や専門的な事業を通じて広く社会に貢献した人を顕彰する賞である。高松宮賞、秩父宮賞とともに三大宮様賞として知られている。

林理事は産経新聞社で通産省、旧厚生省など中央省庁担当の記者を経て、能登企画を創業(その後、日本医療企画に社名変更)。以来、35年以上にわたり医療・介護経営の専門誌を発行するなど、ヘルスケア分野を中心とする情報発信に取り組んできた。近年は介護福祉経営士をはじめとする経営人材の育成事業にも注力しており、こうした医療・介護分野での実績が評価された。

界大戦終戦の処理を見事に成し遂げられた東久邇宮彦殿下への尊敬の念があったからです。長年お世話になってきた堺屋太一さんは「現在は第三の敗戦である」と強調されています。第一の敗戦は幕末の馬関戦争、第二の敗戦は第二次世界大戦。そして現在を、戦わずして負けた第三の敗戦と称しておられます。現在の国や地方の状況などに鑑みると、言い得て妙だと感じます。特に医療・介護・社会保険などは国の最大の課題ですが、その根底には国、そして国民が病んでいることがあるのではないのでしょうか。今こそ東久邇宮殿下が終戦時に果たした役割と同様に、敗戦と向き合い、新しい時代を生み出す必要があると考えています。すこぼ揆抄した。

企画・編集をお願いしていただき、非常に好評を博しています。これからもご尽力を賜りますようお願いいたします。と祝福した。また、日本医師会の横倉義武会長(石川広己常任理事が代読)は、「医療、経営、そして人材育成と多岐にわたる分野で、挑戦と創造を掲げたその取り組みは、私たちも見習わなければなりません」と、日本病院会の堺常雄会長は「林社長はこれからは地域が中心となる社会だと常に訴えており、私たちの一歩先を行かれています。これに追いつき、時代をつくる一端を担っていきましよう」と、医療・介護の再構築と新しい地域づくりに取り組む姿勢を称えた。

「感謝のつどい」には政財界ほか各界から林理事と縁の深い150人がお祝いに駆けつけ、熊坂隆光・株式会社産業経済新聞社代表取締役社長、山東昭子・自由民主党参議院議員、名原剛・元日本生命保険相互会社代表取締役社長、眞島弘・元株式会社産業経済新聞社経済部記者、加藤陽一郎・元第一勧業銀行専務取締役らが祝辞を述べた。



## 関東支部

### 経営計画・事業計画の策定から学ぶ

日本介護福祉経営人材教育協会関東支部は、2月20日(土)、日本医療企画もとみやセミナールームにて第2回介護経営実践講座「介護事業者のための『経営計画・事業計画』のつくり方」を開催し、介護福祉経営士、介護事業所の経営者・管理者層など約50名が参加した。

## 「介護福祉経営士2級」過去問にチャレンジ!

### 解答&解説

【解答】④  
【解答・解説】  
×①社会問題を企業の事業活動と切り離れた別の課題としてみるのではなく、事業戦略として一体のものとして扱うことを提唱した。  
×②CSR(社会的責任)に代わり、企業がとるべき新たな概念としてCSV(Creating Shared Value:共有価値の創出)の重要性を提唱した。  
×③人員数ではなく、能率性と機能性である。ケイパビリティの開発を目指す組織のこと。  
○④設問のとおり。希少性で模倣にコストがかかるものは企業のメリットであるが、それを活用できる企業の環境も必要である。  
×⑤従業員を支援したり、権限を与えたりすることは競争優位の獲得・維持に不可欠である。

<テキスト『介護福祉経営士』の該当ページ>  
『基礎編Ⅱ 4巻』p.50~60  
※解答・解説は株式会社日本医療企画が作成しました。

やってみて気づくことが多かった。今後の荒波を乗り越えて行くためには、しっかりととした考え方をし、法人が一丸となって意識を共有し、ビジョン実現に向けて努めていくことが大切だと理解できた」などの声が上がっていた。

最後に同氏から、「実際には、計画策定においては意見の衝突もあるだろうし、計画の実行において目標が達成できないかもしれない。すべてがスムーズにいくことはむしろ少ないだろう。しかし、あきらめず、全役職員の思考を深めてみてほしい。経営計画・事業計画の策定により得られる最も大事な成果物は、その一連の策定プロセスにおいてさまざま問題にぶつかり、その問題に向き合い、議論し、乗り越えることで自然と高まっていくであろう役職員の意識にこそあると考えている。ぜひ、すべての役職員が法人の理念・ビジョンの実現に向けて同じ方向を向き、一丸となれるような、経営計画・事業計画の策定に取り組んでほしい」と熱く締めくくった(次回開催も検討中)。

## 介護業界で生き残る 経営計画・事業計画のつくり方

介護福祉経営士サブテキスト 実行力シリーズ 14

独立行政法人 福祉医療機構  
【著者】 本地 央明(経営サポートセンター リサーチチーム リーダー)  
中野 佑一(経営サポートセンター コンサルティングチーム 主査)

○分析から計画、実行、管理までわかりやすい6つのステップ  
○自法人の分析、本質的課題が一目でわかるオリジナル評価表付き  
○社会福祉法人の中期経営計画など、計画書策定のモデル事例収録

本書では、独立行政法人福祉医療機構において実施している福祉貸付事業やコンサルティングの実績などをもとに、経営計画・事業計画の策定手法を解説しています。初めて事業計画書をつくる経営者であってもイメージしやすいように、具体的に介護業界の分析の視点に置き換えて解説していき、自社の立ち位置の把握、取り組み事項の抽出などができる構成にしています。初心者からベテランまで幅広く活用できる手引き書です。

●本体価格1800円+税  
●A5判 239ページ  
●ISBN978-4-86439-331-7

介護福祉経営士実行力シリーズ  
第1巻 ES向上型人事制度で人を育てる 志が伝わる介護事業所づくり  
第2巻 よくわかる 実地指導への対応マニュアル  
第3巻 介護事業の基礎力を鍛える コンプライアンス経営  
第4巻 経営ビジョンを戦略的に実現する 「介護会計」のすべて  
第5巻 めざす介護を実現する 高齢者住宅・施設の建築デザイン戦略  
第6巻 現場の成功事例から学ぶ 安全な介護を実現する事故・トラブル防止術  
第7巻 よくわかる 地域包括ケアの理論と実践 一社会資源活用術  
第8巻 導入から開発、ソリューションまで ICTが創造する業務イノベーション  
第9巻 新しい福祉機器と介護サービス革命 導入の視点と活用のポイント  
第10巻 成功する「差別化・情報」戦略 ブランディングによる人の集め方・活かし方  
第11巻 プロ意識を高め、思いやりの心を磨く! 一流の介護職員が育つ奇跡の人材育成法  
第12巻 ここで差がつく! 次代をリードする人材を獲得するための採用戦略  
第13巻 職員の健康をマネジメント! 企業価値を高める「攻め」のメンタルヘルス対策  
第14巻 介護業界で生き残る 経営計画・事業計画のつくり方

お問い合わせ先 / (株)日本医療企画 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-2862 FAX:03-3256-2865 <http://www.jmp.co.jp/>

●関東支社 ☎03-3256-2885 ●関西支社 ☎06-7660-1761 ●九州支社 ☎092-418-2828 ●北信越支社 ☎076-231-7791 ●中部支社 ☎052-209-5451 ●北海道支社 ☎011-223-5125